※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　地歴・公民科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「歴史総合」近代から現代へ　（山川出版社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界と日本の歴史の流れを感じる。
・歴史を学習する上で必要な、「なぜ」「どうして」という疑問を持ち、理解しようと臨む。
・中学校で学んだ地理と歴史を踏まえて、世界の歴史とそのときの日本について考える。

２　学習の到達目標

１，近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
２，近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、議論したりする力を養う。
３，近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用し、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	1 結びつく世界 2 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 3 明治維新と日本の立憲体制 4 帝国主義の展開とアジ	a: 身近な砂糖を題材に私たちの生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 b: 砂糖を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 c: 身近な題材に対してみずから「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	定期考査 課題 小テスト	定期考査 課題 小テスト	レポート 課題 グループ協議

※令和４年度以降入学生用

２学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	5　第一次世界大戦と大衆社会 6　経済危機と第二次世界大戦 7　戦後の国際秩序と日本の改革	a：自由・制限の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 開発・保全の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 b：自由・制限の観点から、国家間の関係の変化などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 開発・保全の観点から、産業発展とそのひずみなどに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 c：自由・制限について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 開発・保全について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	定期考査 課題 小テスト	定期考査 課題 小テスト	レポート 課題 グループ協議

※令和４年度以降入学生用

		8 冷戦と世界経済 9 グローバル化する世界	a: 対立・協調の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 平等・格差の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 統合・分化の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b: 対立・協調の観点から、ムスリムとヒンドゥー教徒の関係性などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 平等・格差の観点から、オリンピックにおける女性の参加などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 統合・分化の観点から、近代以降に発生した移民や難民の背景などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 c: 対立・協調について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 平等・格差について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや	定期考査 課題 小テスト	定期考査 課題 小テスト	レポート 課題 グループ協議

※令和４年度以降入学生用

			課題を見出そうとしている。 統合・分化について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつ ながりや課題を見出そうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

三学期	グローバル化と私たち	10 現代の課題	a: 対立・協調の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 平等・格差の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 統合・分化の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b: 対立・協調の観点から、ムスリムとヒンドゥー教徒の関係性などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 平等・格差の観点から、オリンピックにおける女性の参加などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 統合・分化の観点から、近代以降に発生した移民や難民の背景などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 c: 対立・協調について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 平等・格差について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや	定期考査 課題 小テスト	定期考査 課題 小テスト	レポート 課題 グループ協議

※令和４年度以降入学生用

			課題を見出そうとしている。 統合・分化について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度